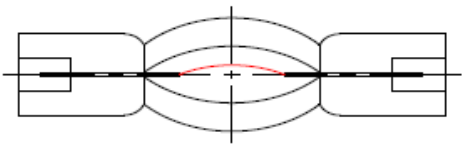
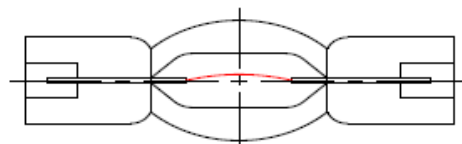


HIDバルブ6000K[注文コード:9680054]が日産など純正最新型バラストで不具合が発生した原因と対策

1. HIDバルブの不具合を探るため、日産純正HIDバルブとバラストを解析しました。
この結果、バルブフォーミング部は従来型のラウンドタイプではなくプレートタイプでした。
2. このプレートタイプにしなければならない背景には、エコカー仕様の普及拡大があります。
通常HIDランプを点灯させるためには、スイッチONと同時に5～7Aの電流を必要としますが、日産純正バラストは
発電機やバッテリーにとって高負荷となる消費電流を従来型以下に抑えた低電流型バラストでした。
カルソニックHIDバルブは従来型バラストに対応したスペックだったため不具合が発生したと考えられます。

区分	従来の仕様 (Round Type)	日産純正バルブ (Plate type)
図面		
内容	フォーミング部の形状が丸く、低電流バラストではアークが上下に振動する。	フォーミング部が狭く平行なため、低電流バラストでアークを短く安定させることが可能。

対 策

1. 新型低電流バラストに合わせて3種類のバルブを製造。構造及び形状はラウンドタイプとプレートタイプで、3種類の仕様はフォーミング部の内圧が約6気圧と7気圧(プレートタイプ)、約7気圧(ラウンドタイプ)で、点灯直後の安定が一番速く耐久性が高い仕様をテストし決定。
対応済みの、注文コード:9680063、9680072、11070674をご使用下さい。

.A33

技術解説

1. ラウンドタイプの特徴
電極間を覆うフォーミング部を球体状にラウンドさせることで、アークエネルギーを効率的かつ均等に膨張させることができるため光の放射性能が高い。製造コストを抑えることができる。
2. プレートタイプの特徴
フォーミング内部のプラス電極からマイナス電極にアークが走る際、アークの上下振動を抑制でき初期点灯において安定性が高い。ラウンドタイプより製造コストが遙かに高くなる。